

伊賀市美術博物館基本計画策定業務委託に係る公募型プロポーザル審査結果報告書

1. はじめに

伊賀市（以下「本市」という。）では、新しい芭蕉翁記念館を含め、博物館と美術館を兼ね備えた施設を「美術博物館」と総称し、その建設に向けた検討を進めている。

伊賀市美術博物館基本構想に基づいた、伊賀市美術博物館基本計画を策定するにあたり、美術博物館の事業活動計画、展示計画・施設計画に関する各種事項の具体化及び施設規模や管理運営方式の検討に係る各種調査・分析等の業務、さらには、基本計画の策定に際しては専門的かつ広範な見地から検討を行うことを目的とし伊賀市美術博物館建設準備委員会を設置して検討を行っていることから、本委員会の運営支援業務とワークショップ等の運営支援業務を委託する。

そこで、豊富な知識と専門的企画力を有する事業者から広く提案を募り、その技術力や実績、専門性などを審査し、総合的に評価して受注者を決めることを目的として、公募型プロポーザルを実施した。

2. スケジュール

令和6年4月19日（金）	第1回伊賀市美術博物館基本計画策定業務委託に係る公募型プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）
令和6年5月1日（水）	第2回審査委員会
令和6年5月8日（水）	手続開始の公告
令和6年5月14日（火）	参加資格確認申請書提出期限（2者から申請）
令和6年5月17日（金）	参加資格確認結果通知
令和6年5月28日（火）	第3回審査委員会
令和6年6月7日（金）	企画提案書等提出期限
令和6年6月11日（火）	第4回審査委員会 プレゼンテーション審査及びヒアリングの実施

3. 審査委員会

①伊賀市美術博物館基本計画策定業務委託プロポーザル審査委員会設置要綱第3条第1項に基づき、6名で構成

②同要綱第3条第2項に基づき、委員長・副委員長を互選

委員長	風隼 徳彰	企画振興部長
副委員長	堀川 敬二	産業振興部長

委員	岩野 庄司	建設部長
委員	川部 千佳	教育委員会事務局長
委員	福田 良彦	博物館の管理・運営に関し専門的知識を有する者
委員	原 舞子	博物館の管理・運営に関し専門的知識を有する者

③事務局

伊賀市企画振興部文化振興課美術博物館建設準備室

4. 審査経過

(1) 第1回審査委員会

開催日 令和6年4月19日(金)

場 所 伊賀市役所本庁舎4階 405会議室

欠席者 なし

概 要 ①審査委員会委員長及び副委員長の選任
②実施要領等の確認
③今後のスケジュール確認

(2) 第2回審査委員会

開催日 令和6年5月1日(水)

場 所 伊賀市役所本庁舎5階 501会議室

欠席者 原委員

概 要 ①実施要領等の確認
②採点基準等について

(3) 第3回審査委員会

開催日 令和6年5月28日(火)

場 所 伊賀市役所本庁舎5階 502会議室

欠席者 堀川副委員長、川部委員、福田委員

概 要 ①参加表明書類の提出状況及び参加資格結果について
②プロポーザル審査運用マニュアルについて
③プロポーザル審査に係る記入書類等について

(4) 第4回審査委員会

開催日 令和6年6月11日(火)

場 所 伊賀市役所本庁舎5階 501会議室

欠席者 なし

- 概要 ①プロポーザル審査の流れについて
 ②事務局審査項目に係る審査結果の確認
 ③プレゼンテーション審査
 ④プロポーザル審査結果の確認
 ⑤最優秀提案者の特定
 ⑥講評

5. 提案書提出者

2事業者

6. 審査結果

(1) 最優秀者 株式会社トータルメディア開発研究所

(2) 評価点

評価項目	配点	審査番号 05131	審査番号 05141
本業務実施方針	180点	113点	131点
美術博物館に求められる機能	240点	149点	181点
本業務の実施フロー及びスケ ジュール	90点	54点	62.4点
実施体制及び業務実績	60点	48.5点	50点
見積金額	30点	6点	6点
合計	600点	370.5点	430.4点
順位		次点者	最優秀者

7. 審査講評

伊賀市美術博物館基本計画策定業務委託に関する事業者の選定に当たって、募集の結果、2事業者から提案をいただいた。いずれも、伊賀市美術博物館基本構想の基本理念や方向性を踏まえ、それぞれの事業者が有する豊富な実績や経験を活かした提案内容であった。貴重な時間を費やし提出書類の作成とプレゼンテーション審査へ参加いただき本審査委員会として各事業者様に敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。

本市では、新しい芭蕉翁記念館、博物館及び美術館を兼ね備えた施設を「美術博物館」とし、その建設に向けた検討を進めている。本年5月に策定された「伊賀市美術博物館基本構想」に基づき、具体的な施設内容や事業規模の検討のための各種調査・分析等を行い、事業内容や想定施設規模・諸室構成等の建築・展示に関する各種事項を定める「伊賀市美術博物館基本計画」を策定するに当たり、価格のほかに豊富な知識と専門的企画力を有する事業者からの提案をいただくことが必要であることから公募型プロポーザルを実施した。

各事業者の評価は次のとおりである。審査番号 05131 の提案については、本市の歴史文化とその課題について具体的に分析されている点や施設の複合化により滞在時間の延長や波及効果について考えられている点、また「通う」ことに重点を置いた視点は高く評価する一方、俳句への親しみやすさを促進するという目標は掲げられてるが、そのための具体的な施策が見当たらず、また、学校教育との連携については一般的な提案に留まっていた。体験や交流、子どもたちへの具体的な提案がさらにあれば、より良い評価となった。次に、審査番号 05141 の提案について、美術博物館が社会教育施設であるという根本的な視点に立ち、未来への投資として、市民参加の手法や子どもたちへの関わり方、学校連携を含む提案が具体的であった。また、芭蕉翁記念館、博物館及び美術館の3つの機能を相互に連携させるアイデアや分科会の設置を通じたスケジュールの柔軟性の高さについて高く評価する一方、情報発信という視点から観光や地域連携に関する展開については物足りなさを感じた。この点について、具体的な提案があればより良い評価となった。

全体として、美術博物館の社会教育施設としての役割を深く理解し、子どもたちへの関わり、学校との連携を具体的に提案された点が高く評価され、本市の歴史文化を活かし教育的価値を創造する効果的な提案が優れていたことから前述の審査結果となった。

最優秀者として選定された株式会社トータルメディア開発研究所におかれては、本業務の目的を厳守し、確実な業務遂行をもって、優れた基本計画策定への支援を期待する。

伊賀市美術博物館基本計画策定業務委託
プロポーザル審査委員会
委員長 風隼 徳彰